

リードギターのアレンジ クリーン系リードギター

クリーン系リードギターの名演

- Wonderful Tonight / エリック・クラプトン
- Wicked Game / クリス・アイザック
- The Boys Of Summer / ドン・ヘンリー

要チェック！！

「Wonderful Tonight」風リードギター

The image shows a musical score for a lead guitar part in treble clef, key of D major (one sharp), and common time (C). The score is divided into two lines. The first line starts with a whole rest, followed by a quarter note C (marked 'C'), a quarter note D, a quarter note E, a quarter note F# (with a vibrato 'Vib.'), a quarter note G (marked 'g.'), a quarter note A (with a palm mute 'P'), a quarter note B, and a quarter note C (with a hammer-on 'H'). A dashed line labeled '8va' spans from the C note to the end of the line. The second line starts with a triplet of eighth notes (D, E, F#) with a vibrato 'Vib.', followed by a quarter note G (with a hammer-on 'H'), a quarter note A (with a vibrato 'Vib.'), a quarter note B (with a grace note 'g.'), a quarter note C (with a slide 'S'), a quarter note D (with a slide 'S'), a quarter note E (with a slide 'S'), and a quarter note F# (with a vibrato 'Vib.').

ストラトキャスターのハーフトーンを使った美しいクリーントーンでの、感情豊かで伸びやかなソロ。

サウンドメイク



ストラト系音源のハーフトーン使用。アンプはTwang Reverb でクリーンセッティング。

クリーントーンはドライブサウンドのようなサスティンを稼げないのでアンプ前段にコンプやブースターを挟むことも多い。今回はStomp Compressor をインサート。コンプのボリュームをしっかりと上げる事でクリーントーンでもゲインとサスティンを程よく稼げる。

更にDAW側でOPT COMPをインサートしボリューム感、パンチを与えている。

「Wonderful Tonight」風リードギター

アレンジの特徴

- メジャースケール中心でペントニックは控えめ順次進行中心。
弾き方も相まってアダルトな雰囲気
- 強弱の差を大きめにつけるドライブ系より強弱がつけやすく、
情感豊かな演奏表現が可能
- 和音を奏でる箇所が多い3度や6度などドライブ系では濁ってしまう和音も
積極的に使う
- 6度和音はクリーンギターの常套手段。

「Wonderful Tonight」風リードギター

打ち込みのポイント

クリーン系ならではのポイント＝ダイナミックレンジの広さ
ベロシティはより強弱を広めに打つ。

4小節目の6度フレーズは音が重なって和音で響くよう、
長めのデュレーションで打つ。

ラストの和音でのビブラートは、ピタットは揃えずずらした方が人間らしくなる。

「Wonderful Tonight」風リードギター

歪み系のソロよりも強弱を大きめにつける

C Vib. g. P H Vib. Vib. Vib.

スライド等が被る箇所は別トラックに分けて打ち込み

H Vib. g. S S S Vib.

「Boys Of Summer」風リードギター

Musical notation for a guitar solo in G major, C time signature. The notation is split into two staves. The first staff starts with a whole rest, followed by a series of notes with slurs and vibrato. The second staff starts with a measure number '5' and continues with notes, slurs, vibrato, and a final whole note with vibrato.

ペダルコンプのかかったクリーントーンで哀愁のあるソロ。
LAのスタジオミュージシャンのようなプレイ。

サウンドメイク



テレキャス系音源のリアピックアップ使用。アンプはTwang ReverbでBrightスイッチオン、キャビはより煌びやかさの出るJASS AMPをチョイス。アンプのボリュームは微かに歪み感が得られるよう4近辺に設定。アンプ前段にペダルコンプをインサート、強めにかける。

リアピックアップ+ペダルコンプのこの音は80sのスタジオミュージシャンが好んで使った。

前曲同様、DAW側でOPT COMPをインサート。

「Boys Of Summer」風リードギター

アレンジ、打ち込みのポイント

全曲よりペンタトニック多めのため、少しロックよりのニュアンス。
この曲でもちよくちよく音が重なり瞬間的に和音を鳴らしている。

ギタリストは無意識に歪みサウンドでは3度6度の和音を避け、
クリーンでは和音を多用する。気持ち良いか？否か？で判断。

6小節目のフレーズは普通のマイナーペンタトニックながら、
8分ウラからフレーズが始まり、ウラ拍のみをピッキング、オモテのタイミングは
プリングやハンマリングでピッキングしないと云う演奏になっている。

これが逆のタイミング(オモテをピッキング)だと
使い古されたペンタトニックにしか聞こえないが、
タイミングを逆にするだけでセンス良く聞こえる。

「Boys Of Summer」風リードギター

The screenshot displays a music software interface with a piano roll and a MIDI piano editor. The piano roll shows a lead guitar part with notes in red and purple. A text box in the center of the piano roll reads: "程度にタイミングをずらし 8分の裏拍は所々かなり遅めで入力" (Adjust the timing to a certain extent, input the 8th measure backbeat in some places quite late). The MIDI piano editor below shows various performance parameters: S (Sustain), Vib. (Vibrato), g. (Gain), P (Pickup), H (Harmonics), and P (Pickup). The bottom track shows the bass line with notes in red and purple.